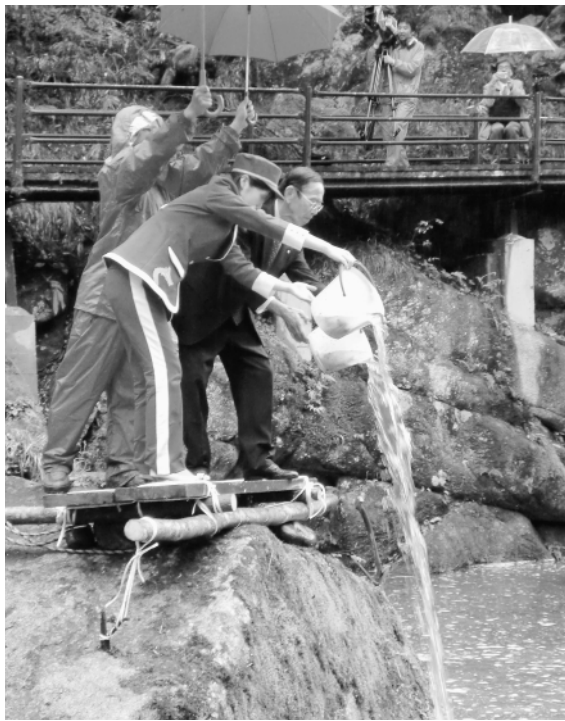


”自然観光“シーズンの幕開け

鬼の舌震 川開き安全祈願祭

四月二十二日、名勝「鬼の舌震」の川開き安全祈願祭が、玉日女（たまひめ）神社参道で行われました。当日はあいにくの雨模様でしたが、観光協会、行政関係者、地元団体など約三十人が出席し、神職による祝詞奏上の後、玉串を奉納し、今年のシーズンの無事故・安全を祈願しました。

観光協会会長の井上町長からは「現在、保存管理計画の策定を行っており、バリアフリー遊歩道及び吊り橋の整備をすることで、多くの人が訪れるような観光地になって欲しい。また新たに観光ガイドとなった『鬼の舌震案内人』と一緒に大切な財産をみんなで後世に伝えていきたい」と挨拶がありました。



ヤマメ放流する井上町長と岩田さん

神事が終わると玉日女橋から大馬木川へ御神酒流しを行った後、川辺で井上町長と今年四月からトロッコ列車の乗客の歓迎や町の観光のPRをする「まちの駅長」になった岩田真希子さんがヤマメ百匹

を放流しました。初めて祈願祭に参加した岩田さんは「これからもっと奥出雲町の良いところをたくさんの人に伝えたい」と話されました。

この鬼の舌震には大型連休や紅葉シーズンを中心に年間約十万人の観光客が訪れ、季節ごとに変わる表情で観光客を楽しませます。

船通山 カタクリ登山

比婆道後帝釈国定公園内にある船通山山頂に自生するカタクリの群生が見頃を迎え、四月二十九日に毎年恒例のカタクリ登山が行われました。カタクリはユリ科の多年草で開花するまで七年を要し、花びらを反り返らせる独特の姿と、爽やかな薄紫色が登山客の人気を呼んでいます。この日は、保全活動に取り組んでいる横田山の会による自然観察会やカタクリの生態を紹介する紙芝居などが行われました。

山頂には、約千五百平方メートルの薄紫色の群生が広がり、当日の好天が花の彩りを一層引き立てていました。



横田山の会による紙芝居

登山客は、貴重なカタクリの花と同時に、山頂からの大山や日本海、隠岐の眺望を楽しんでいました。

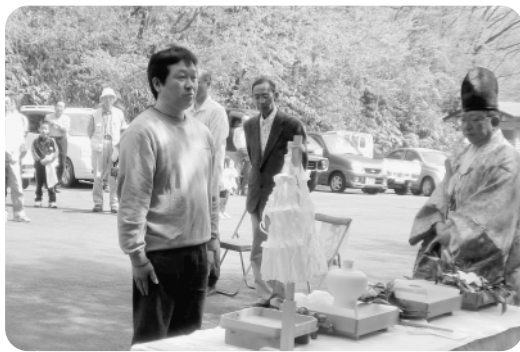
鯛ノ巣山

山開き安全祈願祭

五月四日、鯛ノ巣山で山開き安全祈願祭が行われました。今年の山開きには、地元関係者など四十人が出席しました。

祈願祭では、神事に続き代表者が玉串を奉納し、今年のシーズン中の安全を祈願しました。

神事が終了すると、記念登山が行われ、参加者は新緑に彩られた遊歩道を散策し、登山を楽しみました。



神事の様子

薄桃色のしゃくなげが見頃に

しゃくなげ祭り

しゃくなげの見頃を迎えた五月二日、第十一回しゃくなげ祭りが、町商工会横田支部やつちやら会の主催で行われました。

むらくもの丘しゃくなげ園近くのイベント会場では、ステージやテント村などが設けられ、賑わいを見せました。

またしゃくなげ園では、まだ少しつぼみが見られたものの随所で薄桃色のしゃくなげの花を咲かせていました。

散策道では、途中で立ち止まり、花を背景に記念撮影をする家族連れの姿が見られました。



散策道に咲くしゃくなげの花

日本刀の魅力を堪能

刀匠小林一門展開催

町内に活動拠点を置き刀工活動を行っている小林一門の企画展が四月二十九日から五月九日の間、奥出雲たたらと刀剣館において開催されました。会場では、一門展に併せ、赤羽刀特別展も開催されました。

会場には、長さ約一メートルの太刀をはじめとした赤羽刀十振り、また今年春に作製された、小林貞永刀匠作の短刀をはじめとした一門歴代の作品十四振りが展示されました。



小林刀匠による鍛錬実演

同館にある日本刀鍛錬場では、玉鋼の鍛錬実演が行われました。真鍮に焼けた鋼を打つ姿に、観覧者は、真剣に



気迫のこもった抜刀実演

オリジナルフレーム切手 発売記念贈呈式

奥出雲町合併五周年を記念した二種類のオリジナルフレーム切手が発売されることになり、五月十日、役場仁多庁舎で切手を発案した郵便局株式会社、デザイン考案者、町関係者が出席し、贈呈式が行われました。

今回発売されるのは「奥出雲町合併五周年記念」と「奥出雲の誇り」の二種類。

『奥出雲の誇り』は町内の文化・名産を元にした抽象デザイン画がプリントされた十枚の切手が一枚のシートとなっており、シートの上部にはおろちをイメージした印象的なデザインが目を引きまします。デザインは島根デザイン専門学校ビジュアルデザイン科の石田もとみさんによるもの。石田さんは「奥出雲町の歴史

史ある文化を知ってデザインを決めた。自分のデザインがこのような形で販売されて嬉しい」と挨拶をされました。また井上町長は「素晴らしい出来映えに驚いた。みんながこの切手に負けないようなまちづくりをしていきたい」と挨拶をされました。

このオリジナルフレーム切手は各シート千部限定で、価格は千二百円。町内の郵便局のほかに出雲市、雲南市、飯石郡、簸川郡の計七十一局で五月十日から販売されています。



「奥出雲の誇り」をデザインした石田もとみさん